

## 活動状況報告書（12月分）

文化芸術コース 田坂 佳那

12月は、23日から始まる大学のクリスマス休暇まで、授業などの活動に取り組みました。12月のはじめには大学のフルート科の学生さん達が受けるオーディションがあり、私は3名の伴奏を担当していたため3日間本番を行いました。今回のオーディション(Probenspiel)はオーケストラ入団のためのオーディションで、ウィーンにおいて若い奏者にとっての重要なチャンスでした。この機会が私にとってウィーンに来て初めての本番となり、こちらでのオーディションの様子を知ることができる貴重な経験となりました。このような機会を得た経験や知ることができた内容を、北海道で情報を求めている方に共有することができればと考えています。

このオーディションが終わると、次に先生からまた別のオーディションのための伴奏のお話をいただきました。今度は打楽器の学生の方々が受けるオーディションのための伴奏で、本番が行われる来月に向けて準備を開始しました。このように、大学で学生や先生が伴奏者を必要とする際に、器楽伴奏科の学生にお声がかかることも多いようです。様々な楽器の方との共演を授業以外で行うことができるため、毎回新しい経験を大切にしながら、良い伴奏ができるよう努力したいと思います。

今月はオーディションの伴奏の他には、主専攻のレッスンで引き続き様々な協奏曲を学んだり、修士論文に関する授業で自分が研究するテーマを決定し概要を記述した提出物を作成したりしました。ドイツ語で専門的な内容の文章を作成することはまだ私にとって難しく、ドイツ語の難しさと勉強の必要性を痛感しました。

また12月といえばクリスマスでしたので、ウィーン市内のいくつもの場所で行われているクリスマスマーケットのうち、市庁舎の前で行われている大きな規模のクリスマスマーケットに足を運びました。クリスマスの装飾や雑貨や、グリューワインのお店など数多く並び、楽団による演奏が行われる時間もあり、たくさんの方でクリスマスマーケット内がとても盛り上がっていました。会場となっている市庁舎の建物自体も美しく、陽が落ちるとクリスマスのライトアップや装飾とともに建物もライトアップされ、とても美しくウィーンらしい景色を見ることができたので、写真でも共有させていただきます。

来月は、今ゼメスター最後の月になります。今ゼメスターで履修している授業は1月で終了となるため、引き続き毎回のレッスン・授業を大切に取り組みたいと思います。



